



しあわせ信州



長野県(姫川砂防事務所)、小谷村プレスリリース 令和5年(2023年)3月6日

「第3回稗田山崩れ等伝承委員会」を開催します。

小谷村の災害文化 ～自然の巨大な営みと安全に向けた結晶を観る～

稗田山崩れ及び小谷村内に整備された多くの砂防施設を災害伝承資産として活用することによる地域の防災力の強化、並びに災害伝承資産の価値を情報発信することによる地域ブランドの向上及び地域間交流の活性化を図ることを目的として、「第3回稗田山崩れ等伝承委員会」を開催します。

- 1 日時 令和5年3月20日(月) 午後3時から5時まで
- 2 場所 白馬アルプスホテル
- 3 内容 (1) 今後の取組について (2) 意見交換
- 4 その他

(1) 会議は原則として公開で行います。

なお、感染症対策の観点から、発熱等の風邪症状がある場合は傍聴をご遠慮ください。

(2) 傍聴希望者多数の場合は、傍聴できない場合があります。



稗田山崩れとは

明治44年(1911年)8月8日、姫川支流の浦川上流で稗田山が大崩壊し、推定1億5千万m³の土砂が崩れ落ちた。

死者23人、被災家屋流失26戸、浸水47戸の直接被害のほか、姫川に高さ63m、上流3kmまで達する天然ダムが形成され、翌明治45年7月に決壊し下流域に大きな被害をもたらした。

(参考文献：国土交通省北陸整備局松本砂防事務所「姫川流域大規模土砂災害史」)

「大谷崩れ(1707年、静岡県)」「鳶山崩れ(1858年、富山、岐阜県)」と並び日本三大崩壊といわれている。

長野県姫川砂防事務所 砂防課
(課長・担当) 高野 祐一
電話 0261-82-3100
FAX 0261-71-7003
E-mail himesabo@pref.nagano.lg.jp

小谷村 建設水道課
(課長・担当) 山田 邦明
電話 0261-82-2204
FAX 0261-82-2232
E-mail kensetusuidou@vill.otari.lg.jp